

# 海外 論文 & レポート

## 新年にあたり日本高齢者 生活協同組合連合会への メッセージ

2005年1月

マリー・F・スミス (AARP 会長)

昨年の遅い時期、私はワシントン DC の AARP本部で日本高齢者生活協同組合連合会の代表の皆さまにお会いすることができたことは、たいへんな喜びです。私はあなた方のグループが提供する情報を有意義に感じました。また、私は AARP の多くのスタッフがたいへん実り多い会話を交わしたことを承知しております。私たちはいつでも共通の目標と挑戦課題について、両方の組織が交換する機会を歓迎いたします。

高齢協は AARP をよき友人として厚遇し、前の会長であるテス・カンジャヤジム・パーケル、またつい最近では日本を訪問中の理事会の議長であるチャック・レーベンを歓迎してくれました。私たちは高齢協連合会によって運営されている施設に感銘を受けています。それは多くの日本の高齢者にたいし、高い質や友情にみちたケアを提供しているからです。私たちは協同と情報交換の方法を追及して、それぞれの組織を強化しメンバーの要求に答えるようにしていく必要があります。

皆さま方がご承知のように、世界は人口統計上大きな変化の途上であり、日本、アメリカやいたるところで人口の高齢化が進んでいます。これは私たちの社会、政府へ新しい挑

戦やチャンスの可能性を提供しています。高齢協のような組織は、そうした挑戦に取り組むことができ、そして多くの可能性を創ることができます。

高齢者は見識、知識、経験、技能を家族や地域や社会に十分に貢献するための大きな蓄積があります。高齢者が満足し価値ある方法において、かれらに実行を可能にさせることは重要で必要な仕事であり、それはすべての世代に利益をもたらすでしょう。

日本高齢者生活協同組合連合会が、発展し繁栄することができますように。更に、日本のすべての人びとがその後半の人生において高い生活の質をエンジョイし、尊厳と目的をもって年を重ねる事ができますようにお祈りいたします。